



村民の一人として提案 中学生議会

中学生に村政と議会に関心を持ってもらおうと、今年で19回目となる「中学生議会」が11月12日に開催されました。参加したのは、昭和中学校3年1組（金井大知^{たい}議長）31人と、同2組（加藤愛音^{あの}議長）31人の生徒たち。各組とも、村の将来を考えた施策や提案について事前に検討を重ねてきました。

議長役の生徒による議事進行により、中学生の視点から感じた村の問題に対して質問や提案を行いました。

1組からは「企業と連携」や「小中統合に伴う廃校利用」の2組からは「あぐりーむ昭和の拡大」や「小中連携のいじめ防止」などが議題に上がりました。

高橋村長は「中学生議会を契機として、皆さんも村民の一人として何ができるのか考え、行動していただきたい」と述べました。

Close up 2

働くを学ぶ チャレンジウィーク

昭和中学校の2年生52人が11月12日から15日までの4日間、村内外21カ所の事業所で職場体験を行いました。

この職場体験は、働くことの意義や人とかかわり方、自分自身の進路など多くのことを考え、学ぶために行われているものです。また、地域の教育力を高めるものでもあります。

小売業や製造業、福祉施設など、生徒たちがそれぞれ選択した事業所で仕事に取り組みました。普段接することの少ない働く人たちの交流を通して、仕事の楽しさや厳しさなどを学んでいました。

